

■ 開設年度		■ 開講部局	
2018		共通教育	
■ 科目名			
アメーバ経営			
■ 英語科目名			
Amoeba Management			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
前期・後期	毎週	講義	2
■ (2 8 年度以降入学生) 中分類		■ (2 8 年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野 (選択科目)	
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		11. 経済・経営を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野2	
■ 受講学部学科			
全学部			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
劉美玲		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-3767		k1646670@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時 (ただし , 事前にメールでアポイントメントを取ってください)			
■ 共同担当教員			
■ アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り ;			
■ アクティブ・ラーニング (「その他」の内容)			
■ アクティブ・ラーニング (授業回数)			
15回			
■ 理念 重要視する教育目標			
3 . 論理的思考 3) 自分の考えを論理的に話し、書くことができる			
■ 理念 教育目標			
1 . 自己理解 1) 自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
■ 理念 教育目標			
5 . 倫理 1) 社会生活の基盤となる倫理について、考えを述べられる			
■ 理念 教育目標			
2 . 情報収集・精査・統合 3) 個別の知識を統合して課題の解決策を提案できる			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
授業目的：この講義の目的はアメーバ経営の基本デザインと導入状況を理解することにある。			
授業内容：京セラ（株）は創業以来一度も赤字を出したことなく、成長性と収益性を両立してきた。その理由の一つは「アメーバ経営」にあると言われている。この講義は、主に管理会計の観点から、アメーバ経営を解説する。一方、広義のアメーバ経営は、管理会計的要素、組織的要素、稲盛フィロソフィーを含み、三者が相互補完的に機能を発揮する。アメーバ経営を包括的に理解してもらうために、必要に応じて組織論（組織構造や組織文化）の内容も含む。また、アメーバ経営は、京セラグループだけではなく、多くの日本企業や海外企業にも導入されている。これらの企業へのアメーバ経営の導入状況を理解してもらうために、導入の概要や事例を講義内容に含む。			
授業方法：パワーポイントを使って講義する。			
■ 学習目標			
1. 一般的な管理会計の仕組みが理解できる。			
2. アメーバ経営における管理会計の仕組みが理解できる。			
3. アメーバ経営における管理会計，組織構造，組織文化の相互補完関係が理解できる。			
4. アメーバ経営は京セラ以外の日本企業・海外企業での導入状況が理解できる。			

■ 授業計画・試験の有無（１６回〔初修語は３１回〕に分け、回数、授業内容、自学自習等）

- １．はじめに - アメーバ経営の概要
- ２．責任センター
- ３．アメーバ経営における責任センター
- ４．振替価格
- ５．アメーバ経営における振替価格
- ６．PDCA（１）：計画
- ７．PDCA（２）：予算管理
- ８．アメーバ経営におけるPDCA
- ９．組織文化
- １０．アメーバ経営における稲盛フィロソフィ
- １１．パッケージとしてのアメーバ経営
- １２．アメーバ経営の導入（１）：概要
- １３．アメーバ経営の導入（２）：事例
- １４．アメーバ経営の国際化
- １５．まとめ
- １６．期末試験は行わない（指定期日までにレポートを提出）

■ 授業外学習（予習・復習）

（復習）授業で学んだ内容を振り返ること。

■ 受講要件	■ 成績の評価基準
経営学に興味を持っていること。	授業への参加態度(30%) 小課題(20%) 期末レポート課題(50%)
■ 教科書	■ 参考書
授業資料を事前に配布する。	谷武幸『エッセンシャル管理会計』（第3版）中央経済社 稲盛和夫『アメーバ経営：ひとりひとりの社員が主役』日本経済新聞社 三矢裕・加護野忠男・谷武幸『アメーバ経営が会社を変える：やる気を引き出す小集団部門別採算制度』ダイヤモンド社
■ 地域志向科目の区分（平成２７年度入学生用）	■ 地域志向科目の区分（平成２８年度以降入学生用）

■ その他

特になし